

「思春期問題研修会」についての考察
～アンケート集計から考える～

宮城県精神保健福祉センター
熱海勝幸 工藤順子 中村恵美 武者 恵

I はじめに

思春期には、思春期特有の発達課題があり、心身両面にわたって多くの問題を生じやすく、現代社会の急激な変化の影響を受けやすい時期でもある。

当センターでは、宮城県の心の健康づくり推進事業の一環として、思春期における様々な問題に関する基礎的な理解を深め、適切な相談・支援等の援助技術の向上を図ることを目的に、年一回を基本に、精神保健福祉業務に携わる者等への専門的な教育研修を実施している。

近年、インターネットの利用に伴ういじめや男女交際も含め、人間関係のトラブル、ゲーム依存、課金トラブル等、若者を取り巻くネットの問題が顕著になっている。

そのため、平成27年度は、平成26年度に引き続き、「ネット依存」をテーマに、現在の思春期・青年期を取り巻くネット依存の理解を深め、支援の一助となるよう、思春期問題研修会を実施した。

本報告は、研修終了後のアンケートの集計結果から、研修の満足度を把握し、総合的に研修内容の充実を図る上での一助とする。

II 事業実施報告

対象者は、市町村・保健所等行政機関関係職員、学校関係職員、警察署職員・精神科医療機関関係職員、相談関係機関職員等である。

平成27年度の開催時には、定員100名を遥かに超える申込があったため、一施設1名として調整した。

思春期問題研修会開催内容を表1に示す。

表1 思春期問題研修会

	平成26年度	平成27年度
開催日	平成27年2月4日(水) 午後1時30分から同4時まで	平成27年8月3日(月) 午後1時30分から同4時まで
会場	宮城県自治会館会議室	宮城県大崎合同庁舎大会議室
研修目的	ネット依存の基礎的な知識と支援への理解	
講演	若者のネット依存の現状とその支援	ネット依存の実態と対処 ～日本での新たな取り組み
主な内容	インターネット依存の定義・現状、診断、治療や対処、予防	
講師	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター ネット依存治療部門 医師	
受講者数	87	100

Ⅲ アンケートの目的

研修受講者の満足度を把握し、より効果的な研修会への実施策を模索する。

Ⅳ アンケートのまとめ *アンケート調査票は参考資料を参照

対象及び研修効果測定の方法

研修受講者を対象にアンケートを配布。研修受講直後に回収したアンケートにおける受講者の研修に対する満足度・感想の集計結果をまとめた。

Ⅳ 結果

(1) 回収率

アンケートの回収率は、表 2 に示すとおりで、いずれの年度も高かった。

表 2 アンケート回収率 (単位：人，%)

	平成 26 年度	平成 27 年度
配付アンケート数	87	100
回収アンケート数	86	98
回収率	98.8	98.0

(2) 回答者の属性

回答者の属性は、表 3 のとおりで、いずれの年度も教職員の参加が多かった。

表 3 回答者の属性

(単位：人)

所属 職種	平成 26 年度							平成 27 年度						
	学校	宮城県	市町村	医療機関	相談支援事業所	その他	合計	学校	宮城県	市町村	医療機関	相談支援事業所	その他	合計
教職員	35						35	56						56
保健師		3	11	1			15		4	12				16
少年警察補導員		9					9		2					2
心理	2	3					5		1					1
ソーシャルワーカー		1		3		1	5	1						1
行政		3	2				5							0
相談支援従事者					3		3					12		12
福祉総合		3					3							0
不明・無回答	1	4	1				6	6	4					10
合計	38	26	14	4	3	1	86	63	11	12	0	12	0	98
%	44.2	30.2	16.3	4.7	3.5	1.2		64.3	11.2	12.2	0.0	12.2	0.0	

(3) 回答者の現職経験年数

平成26年度及び平成27年度における現職経験年数は、表4のとおりである。幅広い現職経験年数の参加があった。なかでも1年～5年未満と20年以上の参加が多かった。

表4 現職経験年数

(単位：人，%)

現職経験年数	対象人数(%)		合計人数 (%)
	平成26年度	平成27年度	
1年未満	5(5.8)	9(9.2)	14(7.6)
1年～5年未満	26(30.2)	24(24.5)	50(27.2)
5年～10年未満	8(9.3)	12(12.2)	20(10.9)
10年～15年未満	13(15.1)	11(11.2)	24(13.0)
15年～20年未満	9(10.5)	8(8.2)	17(9.2)
20年以上	25(29.1)	31(31.6)	56(30.4)
不明・無回答	0(0.0)	3(3.1)	3(1.6)
合計	86	98	184

(4) 研修会満足度

満足度は、表5に示すとおりである。

満足及びやや満足を合わせた満足度は、平成26年度が95.3%、平成27年度が82.7%と、いずれの年度も高かった。

表5 研修会満足度

(単位：人，%)

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明・無回答	合計
平成26年度	61(70.9)	21(24.4)	4(4.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	86
平成27年度	45(45.9)	36(36.7)	16(16.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.0)	98

(5) 属性区分

これまでの当センターの研修対象は保健福祉分野が中心だった。

今回は思春期・青年期の課題をテーマとしたことから、教職員も対象に含めた。

このことから、属性を教職員と教職員以外の区分でまとめた。

(6) 属性区分による研修会満足度

研修会満足度の各年度の合算を、表6に示す。

教職員の満足とやや満足を合わせると87.9%、教職員以外は89.2%であった。

表6 属性区分による満足度の各年度の合算

(単位：人，%)

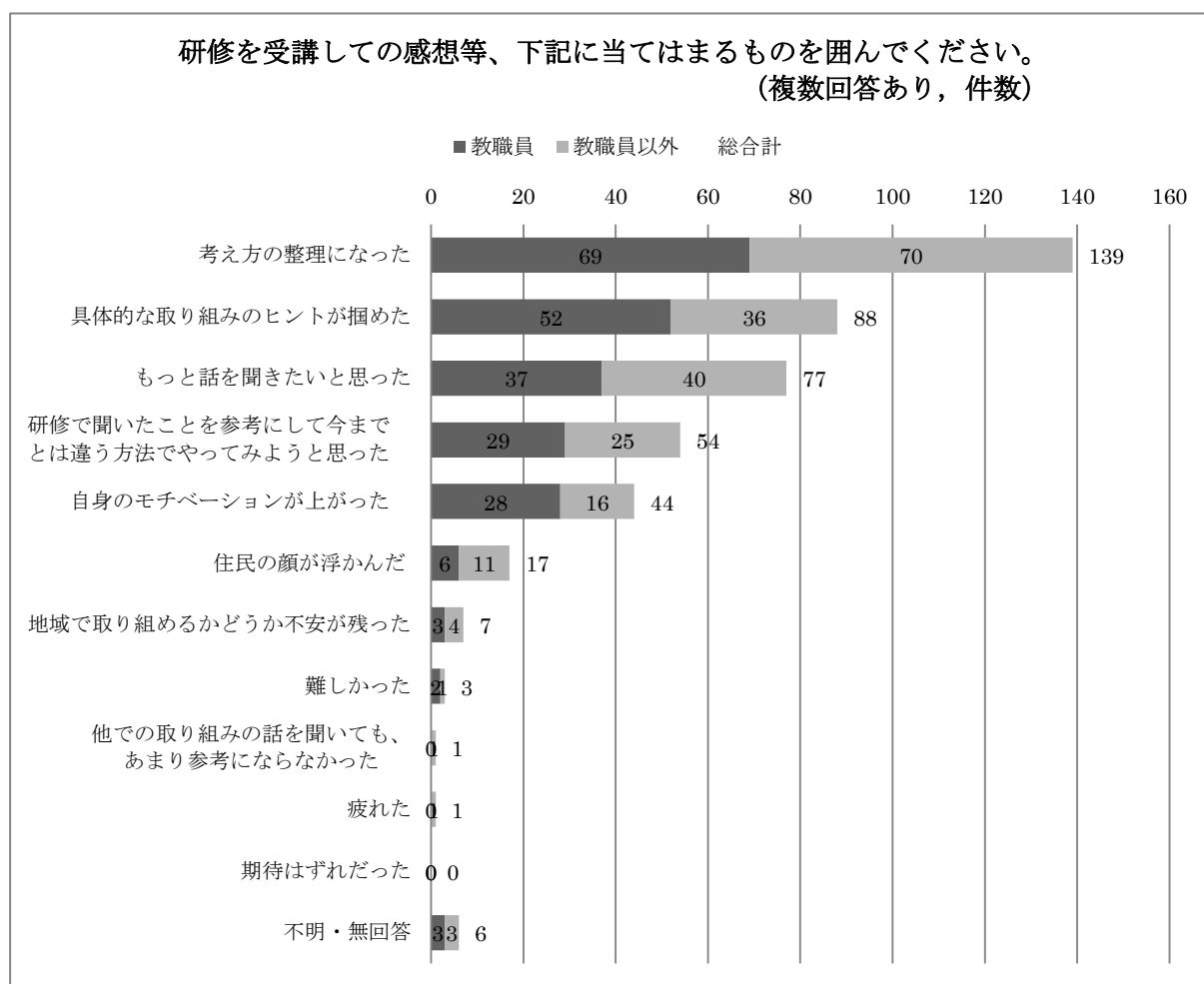
属性区分	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明・無回答	合計
教職員	48(52.7)	32(35.2)	11(12.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	91
教職員以外	58(62.4)	25(26.9)	9(9.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.1)	93

(7) 属性区分による研修の感想

感想の各年度の合算件数を、図1に示す。

「考え方の整理になった」が139件と最も多く、次いで「具体的な取り組みのヒントが掴めた」が88件、「もっと話しを聞きたいと思った」が77件であった。

図1 感想における属性区分毎の選択項目の合算件数

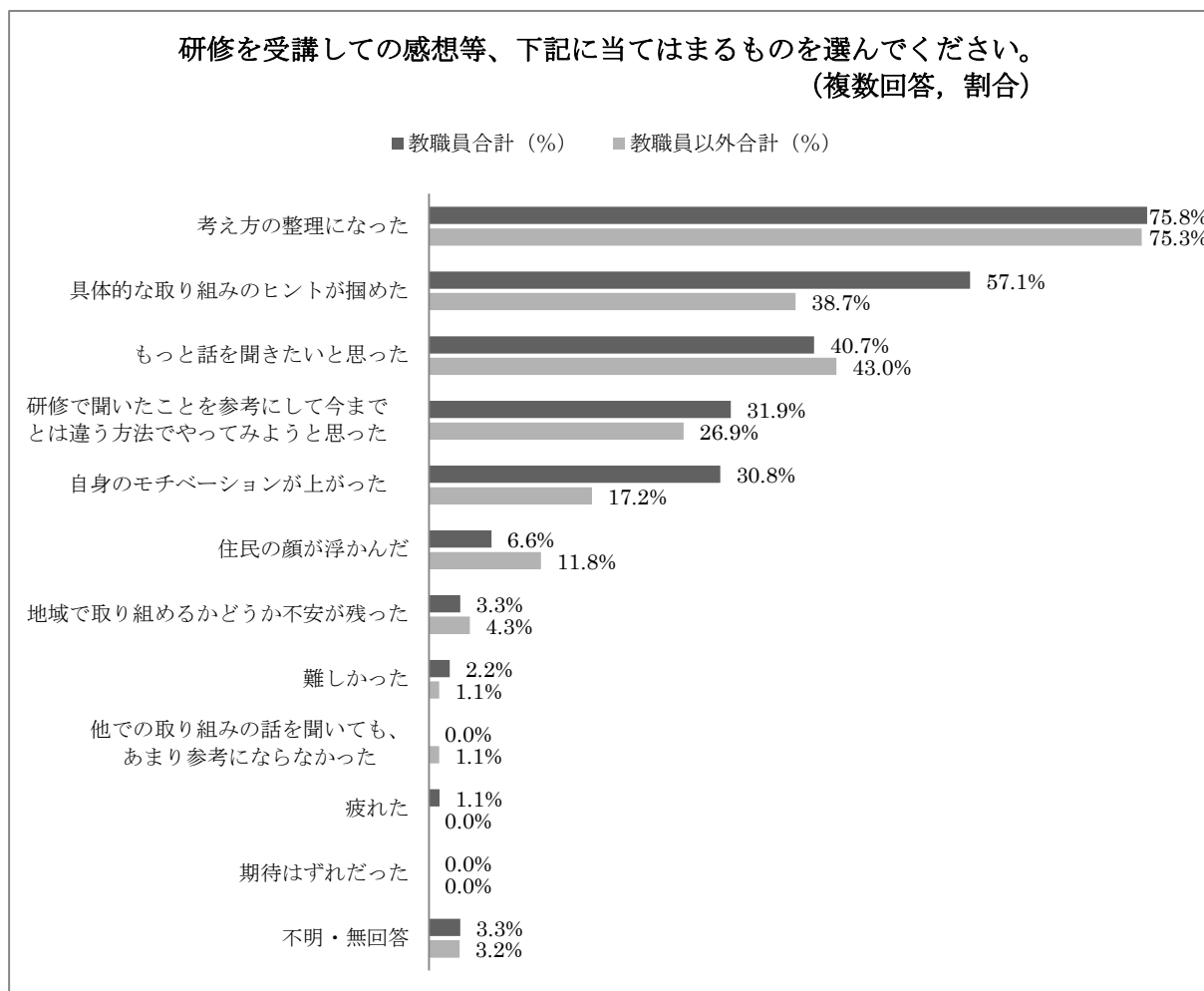


(8) 属性区分における研修の感想

感想の各年度の合算件数を、教職員と教職員以外に分けた割合を、図2に示す。

「具体的な取り組みのヒントが掴めた」の項目をみると、教職員の57.1%に対して、教職員以外は38.7%と、差が見られた。また、「自身のモチベーションが上がった」の項目でも、教職員30.8%、教職員以外が17.2%と、同じように差が見られている。その他の選択項目では割合に差はなかった。

図2 教職員と教職員以外における感想等の選択項目とその割合



VII 考察

平成26年度からネット依存をテーマとして、研修を実施してきている。

新しいテーマであるが、現職経験年数は1年～5年未満の受講者だけでなく、20年以上の経験を有する受講者も多く、全体的なニーズがあったと言える。

平成26年度及び平成27年度いずれも受講者の満足度は高く、属性区分による満足度でも差は見られなかった。

教職員及び教職員以外のいずれも70%を超えた「考え方の整理になった」の回答は、ネット依存の知識と対応に対する基礎的な理解が深まった結果と考える。このことが「もっと話を聞きたいと思った」や「研修で聞いたことを参考にして今までとは違う

方法でやってみようと思った」の回答の多さにつながったのではないかと推察する。

一方、属性区分で差が見られた「具体的な取り組みのヒントが掴めた」と「自身のモチベーションが上がった」の項目で、教職員の回答が多かったのは、生徒となる思春期・青年期の若者と接する機会の多い教育現場の教職員ならではの特征ではないかと考える。教職員以外の受講者は、地域精神保健としての思春期の対象者やネット依存の課題との接点が多くはないと思われる。

思春期・青年期を取り巻くネット依存の理解を深め、支援の一助となるよう企画した思春期問題研修会は一定の効果があったと考える。

属性区分における感想の合算件数で上位を占めた「考え方の整理になった」、「具体的な取り組みのヒントが掴めた」、「もっと話を聞きたいと思った」、「研修で聞いたことを参考にして今までとは違う方法でやってみようと思った」、「自身のモチベーションが上がった」は、今後の取り組み意欲につながり、後の行動変容に結びつくことが期待できると思われる。

VIII おわりに

研修受講の申込みの多さからみると、思春期問題における研修会は、受講者の現場のニーズに合った研修であったと言える。また、アンケートの集計結果からは、教職員と教職員以外の感想に違いがあることがわかった。このことから、今後は、対象者の特徴に合わせた研修企画が必要と思われる。

参考資料

平成〇〇年度思春期問題研修会

研 修 会 ア ン ケ ー ト

本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。今後の研修会企画の参考にしますので、ご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

① あなたの所属・職種を教えてください。該当するものを○で囲み、記載してください。

- 市町村 [職種：]
- 宮城県 [職種：]
- 支援事業所 [職種：]
- 医療機関 [職種：]
- 学校関係（小学校・中学校・高校）[職種：]
- その他（ ）[職種：]

② あなたの現職経験年数を教えてください。

_____年 _____ヶ月

③ 本日の研修を受講しての感想等、下記にあてはまるものを○で囲んで下さい。

（複数可）

- 考え方の整理になった 難しかった 疲れた
- 他での取り組みの話聞いても、あまり参考にならなかった
- 具体的な取り組みのヒントが掴めた
- 地域で取り組めるかどうか不安が残った
- 自身のモチベーションが上がった 期待はずれだった
- 研修で聞いたことを参考にして今までとは違う方法でやってみようと思った
- もっと話を聞きたいと思った 住民の顔が浮かんだ

④ 当研修会の満足度はいかがですか。あてはまるものを○で囲み、理由を記入してください。

- a 満足 b やや満足 c 普通 d やや不満 e 不満

【理由】

[]

⑤ その他、感想や研修に対する要望等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。